

第35回需給調整市場検討小委員会  
 第45回調整力の細分化及び広域調達の技術的検討に関する作業会  
 資料4 修正箇所 新旧対照表

(修正箇所部分を抜粋)

(2023年2月1日修正分)

	修正前	修正後
P.62	<p style="text-align: center;">修正前</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">今後の三次②必要量について <span style="float: right;">62</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今後の調整力必要量について、2024年度以降の調整力公募の廃止が直接的に三次②必要量に影響しないことから、まずは一次～三次①における効率的な調達方法の検討を進めている（具体的には週間断面における調達量を減らし、不足するおそれがある場合に追加調達する方向で検討）。</li> <li>■ そのため、今後の三次②必要量についても、上記の検討結果を踏まえ、同様のアプローチが取れるか（追加調達の判断基準について、広域予備率以外の追加調達の指標が作れるか等）について急ぎ検討を行って、整理が出来次第、2023年度の三次②必要量算出についても早期反映させることとしたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">2024年度に向けた検討の進め方 <span style="float: right;">48</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今回、お示しした以下の考え方を基本とし、引き続き実務検討を進め、2024年度から実施可能な方法について、今後整理していくこととしていただく。</li> <li>■ なお、2023年度の三次①必要量に対しては、今後整理を行う、2024年度の考え方（実施方法）が整い次第、反映可能な考え方については、早期に反映することとしたい。</li> <li>■ また、2025年度以降については、現在検討中の取引スケジュールの変更について整理を行った後に、改めて検討を行うこととしたい。</li> </ul> <p>【2024年度に向けた検討の基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;調整力確保量を調整する仕組み&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓週間断面における調達量を減らし、不足するおそれがある場合に追加調達を行う。</li> <li>&lt;週間・前日断面での調達量&gt;                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓週間断面においては一次・二次①の調達量は3σ相当を基本とし、二次②・三次①については調達量を減らす。</li> <li>✓前日断面での追加調達は現行整理初期の3σ相当を上乗せする。</li> </ul> </li> <li>&lt;前日断面での追加調達方法&gt;                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓三次②取引量に追加調達分を上乗せし、同時に調達する。</li> <li>✓FIT交付金と託送料金の仕訳方法についても検討を行う。</li> </ul> </li> <li>&lt;追加調達の判断基準&gt;                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓透明性の観点から、広域予備率を基準に判断することを中心に、詳細は別途検討する。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">出所) 本小委員会 資料3</p> </div>	<p style="text-align: center;">修正後</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">今後の三次②必要量について <span style="float: right;">62</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今後の調整力必要量について、2024年度以降の調整力公募の廃止が直接的に三次②必要量に影響しないことから、まずは一次～三次①における効率的な調達方法の検討を進めている（具体的には週間断面における調達量を減らし、不足するおそれがある場合に追加調達する方向で検討）。</li> <li>■ そのため、今後の三次②必要量についても、上記の検討結果を踏まえ、同様のアプローチが取れるか（追加調達の判断基準について、広域予備率以外の追加調達の指標が作れるか等）について急ぎ検討を行って、整理が出来次第、2023年度の三次②必要量算出についても早期反映させることとしたい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">2024年度に向けた検討の進め方 <span style="float: right;">48</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今回お示しした方向性を基本とし、引き続きデータ分析を含めた実務検討を進め、2024年度から実施可能な方法について、別途、お示しすることとしたい。</li> <li>■ なお、2023年度の三次①必要量に対しては、今後整理を行う、2024年度の考え方（実施方法）が整い次第、反映可能な考え方については、早期に反映することとしたい。</li> <li>■ また、2025年度以降については、現在検討中の取引スケジュールの変更について整理を行った後に、改めて検討を行うこととする。</li> </ul> <p>【2024年度に向けた検討の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;調整力確保量を調整する仕組み&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓週間断面における調達量を減らし、不足するおそれがある場合に追加調達を行う。</li> <li>&lt;週間・前日断面での調達量&gt;                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓週間断面においては一次・二次①の調達量は3σ相当を基本とし、二次②・三次①については1σ相当に減らすことも可能と考えられるため、この点については相減効果等の分析等を行い、別途、お示しする。</li> <li>✓前日断面での追加調達は現行整理初期の3σ相当を上乗せする。</li> </ul> </li> <li>&lt;前日断面での追加調達方法&gt;                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓三次②取引量に追加調達分を上乗せし、同時に調達する案が考えられるため、実務検討を踏まえ、別途、お示しする。</li> <li>✓FIT交付金と託送料金の仕訳方法については、国と連携のうえ検討を行う。</li> </ul> </li> <li>&lt;追加調達の判断基準&gt;                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓広域予備率を基準に判断する方法が考えられるが、実務検討を行ったうえで、別途、お示しする。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </div> <p style="text-align: center; font-weight: bold; border: 1px solid red; padding: 2px;">差替</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">出所) 本小委員会 資料3</p> </div> <p>【理由】資料4の62ページは、資料3の48ページを参照しているところ、HPに掲載した資料3から正しく反映されていなかったため、赤枠部分を差し替えております。</p>